

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会議名	平成 27 年度 第 6 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 28 年 3 月 28 日 (月) 13 時 30 分～
開催場所	益田市匹見総合支所 大会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none">・ 匹見地域協議会委員 (7 名)・ 匹見総合支所 : 長谷川支所長　住民福祉課 : 粕田課長、藤井課長補佐、事務局　地域づくり推進課 : 村上課長　建設課 : 露口課長

【会長あいさつ】

今年度最後の地域協議会である。新年度の主要事業の説明や 488 号線の整備方針について、慎重な審議とご意見を頂きたい。

【報告事項】

(1) 平成 28 年度主要事業について <資料 1 各課長より説明>

- 平成 28 年度の益田市の予算について支所長より説明。益田市総合戦略について 4 つの基本目標を掲げて事業展開し、平成 28 年度はその事業を中心的におこない、その実現を図る。
- 匹見地域における主要事業は 27 年度より約 1 億 6 千万円の減となっている。27 年度は匹見下多目的集会施設の整備や匹見峡温泉の薪ボイラー整備事業がありかなりの予算状況であった。
- 各課長より、平成 28 年度の主要事業について報告。

《質疑・意見》

コミュニティ助成事業について

- 具体的にどのような取り組みをするのか?
 - ▷ 匹見神楽社中の蛇胴の更新、音響設備の整備である。
- 以前匹見中学校の蛇胴が古い為更新出来ないか相談したことがあるが、それか?
 - ▷ 匹見神楽社中で申請し蛇胴を更新するが、社中の神楽活動の中に継承活動があるため、中学校等も一緒に蛇胴を利用できると社中では考えている。

林道の整備について

- 益田市としては林道の整備、開設はおこなわないのか? 林道整備に関する予算が無いようだが?

- ▷ 林道の開設は近年無い。林道の維持管理等について匹見地域ではかなり予算をかけているが、益田美都エリアについてはほとんど無いようだ。
- 益田市全体の中では匹見は造林など山を活かすため、林道開設おこなうべきと考えるが。匹見支所として林道開設というのを予算化するように動くべきではないか。
- ▷ 林道事業にかかる森林整備計画というものがあり、林道整備に関しては、維持管理、新規路線、延長という計画が一体的にある。事業的には地元の方から出た要望を森林整備計画に載せて、それから県の方に要望して事業展開をするという運びになっている。
- ▷ 森林整備計画の所管は林業水産課であり、個々の林道管理等については支所がおこなっている。林道開設等の要望については支所で把握して林業水産課の方に連絡をあげて対応しているところ。

通園補助金について

- どういった補助金なのか？
 - ▷ 澄川児童館を廃止する時に、澄川地区の園児の匹見保育所までの送迎経費を通園補助として保護者に助成している。平成29年度末で要綱が終わる。
- 益田市として人口拡大計画を進めていくのに、子供連れの若い世帯に対しそういった補助金も出ないようではU Iターンは呼び込めないので行政としてはそういったきめ細かい所に目が届くようにならないといけない。

橋梁点検について

- 最近色々な橋を見ているようだが、あれは何をしているのか？
 - ▷ 橋梁点検をおこなっている。点検をした結果、異常無しから評価があり、1番悪い評価になったときには何年以内に補修をするということになっている。
- 持三郎の橋は広くできないか？狭いから除雪に苦労しているようだが。
 - ▷ 補強は出来るが、幅員は出来ない。例えば、仮に三出原等の道路が遮断された場合に、救急車が入れなくなるとかマイクロバスが入りにくい等、将来的に市道橋の改築を計画したほうが今後の匹見下地区の連絡道と管理をする時に良いのではという提案は今のところしている。

観光振興について

- 匹見峠春祭り、こいこい夏祭り、産業文化祭について活性化基金を100万円充てているが、もし活性化基金が無くなった場合にどうなっていくか非常に心配である。
 - ▷ 以前基金の協議をした際100万円を観光事業に充当するという協議がなされた。35万円は産業文化祭に充当し、残り65万円を観光振興事業補助金として春祭りの財源として助成している。
- 夏祭りは一般財源のみか？基金が無くなってもこれだけは継続出来るという考えになるか？
 - ▷ 現在行財政改革で補助金の見直しの指摘が入っており、28年度中に見直しをおこなわなければならない。春祭り、夏祭り、文化祭、この3つの事業については今後一体的に運営していくというような形で匹見町観光協会との協議を進めていきたい。事業ごとにいくらという組み立てでは無く、全体で3つのイベントについて対応していく。経費負担の見直しという点で夏祭りについては一般財源のみとなっており、委員会の方から経費の配分について見直しをするよう指摘があった。
- そういうことになると、匹見支所がかなり主体的になってやっていかないとどんどん予算が無くなっていくと危惧する。支所としてどう考えているか？
 - ▷ 現在観光協会が旧3市町それぞれに独立してある。28年度中に益田市観光協会を法人格を持った団体にしていき、それをもって将来的に統合するのか独立して残すのかという議論が今後また出てくる

る。観光に関する補助金についてもそれぞれに対し支出されており、匹見地区については 240 万円となっている。行革からは花火を打ち上げるのに一般財源 100 万円を使うのかという指摘があり、匹見町の観光に関する事業展開をするためには、花火という特定の事業項目を外し春祭り等を一体的に 240 万円の中で事業展開出来る方向で整理していこうとしている。夏祭りが無くなるというようなことがあってはならないので、祭りをどう支えていくかという事は今後の課題と考える。

自伐型林業について

●温泉のボイラーの状況はどうなっているか？

▷ 竣工検査が終わり 3 月 29 日竣工式をおこない 4 月から本格稼働をする。

●木の駅へ木材を出されるのは匹見地域より美都地域の方が多いと聞いたが。匹見町民にしっかりと PR し匹見町民の所得に少しでも貢献するような策を取ってもらいたい。

▷ 匹見地域にはかなり資源があるので、今まで山の仕事をされていた方に対して声掛けもしていきながら、地域において拡大していくよう、林業水産課でもしっかりと動いているところである。

▷ 今登録が 22 人と 4 団体あり、団体の方が出すことが多く個人で出されるのはわずか。

●薪が生木のため火がつきにくいと聞いたが。どのように火をつけるのか？

▷ 灯油を着火剤のような形で利用する仕組みでは無い。

●毎日火をつけないといけない。着火しやすい、良い方法を考えておかなくてはならないのでは？

▷ 全ての事が新しい取り組みであり、一つ一つ検証しながら、一番良い方法について確立していくとい正在を考えている。

●温泉の指定管理料が昨年より 100 万円減額されたようだが、実際、燃料が灯油から薪になった部分での減額は可能なのか？

▷ 計算上では出来るが、実際 1 年間の経費の運用を見て、難しいようなら 100 万円を元に戻すしかないと考えている。経済効果としては、地元の木材資源を使い地元にお金が落ちているので良いのではないかと感じている。

●今地域おこし協力隊として研修している方達が 3 年間の研修期間が終わった後に、山の仕事をして本当に生活が成り立つのだろうか？どのような研修、指導をしているか？しっかりと将来展望を立ててやっていかないと現実的には非常に厳しいと思うが。

▷ 研修を終えた後は、今まで研修で得たノウハウ、技術等が活かしていける仕組みの中で生業を見つけていくことになる。例えば集落や地域単位で手のかけられない山があれば、林業水産課で主体的に話し合いの場を設け、そうした山々に手がかけられる仕組みを作り、その仕組みの中で山の仕事を関わっていくという展望を描いている。

▷ 3 年間の研修後、そのまま益田市に残るか次の場所へ移るか等は個人の選択である。益田市としては残ってもらいたいという意識の中で林業経営を教え、技術講習を受講させ技術力も高めていく。まだ未知の世界であり、将来的な生業に出来るような構想を林業水産課の中で今後整理をしていく。

移動販売に係る支援制度について

●匹見町内では買い物に出かけることが困難な所へ移動販売をされている商店さんがある。昨年移動販売用に車を改造した。その経費について助成金が受けられるということで商工会に支援してもらい申請を出したが、予算が無くなったということで受けることが出来なかった。匹見地域の業者も生き残りをかけて必死に工夫し取り組みをしている。それに対し支所としてもこういう制度の周知や支援をしっかりと欲しい。

▷ 商工会と行政との連絡が悪かった部分があったかもしれない。市の予算が一部足りないのであれば

早めの連絡があれば何らかの方法が取れたかもしれない。

- 支所として、移動販売の実態は把握されている事だから、補助金や支援制度があるという声掛けが欲しかったというのがその商店さんの本音である。今後はそういう事が無いように、良い制度があれば活かせるよう、支所は地域や住民に対しての細かな配慮をするべき。

▷ 産業支援センターとして月1回情報提供の場を持ちそれぞれの取り組みや経過報告をしているので、今後とも個々の詳細等について機会を捉えて十分な情報提供をおこなっていきたい。

匹見地域のバスについて

- スクールバスの路線は規制があるのか？今土井ノ原地区の児童がスクールバスに乗るため国道で待っているが、集落の方まで入れないか？

▷ スクールバスは規制は無いが、現在過疎バスと併用しており、陸運局に路線申請し認定をもらった路線を走っている。一応確認してみるが、非常に路線的には難しいと思う。

- 過疎バスは「可能な限り自宅付近まで送迎」されると聞いたが。持三郎集落で過疎バスを利用したい方がおり、持三郎集落まで入ってもらえないか話をしたがそれは出来ないと言われた。足が不自由なため家の近くで乗りたいのだが、検討出来ないか？

▷ 現在の過疎バスの路線が488号線となっている。道路運送法が年々緩和されてきており、少し路線を外れてもいいという事になれば予約があれば行ける可能性があるので、一応確認してみる。

コーディネーター事業について

- まちづくりコーディネーター事業について来年度も予算措置され事業が継続されるようだが。もう10年目であり、この事業の継続については一回協議、検討した方が良いのではないか？

▷ 予算措置の段階で、市として協議し、継続するということで予算措置がされている。

▷ 以前は匹見地域単独で事業をおこなっていたが、一昨年から地域創生特別交付金で、まだ暮らし推進事業ということで新たな事業展開している。益田市全体で地区ごとにコーディネーターを配置し、31年度を事業目的としてこの事業を進めているところである。

- わさびコーディネーター事業については、生産者の中からも色々な意見を聞く。基金を使った事業でもあり、行政として生産者等からの意見についてきちんと整理をしないといけないと考えるが。

▷ 支所としても色々な事情を聞いておるところ。事業展開についても担当課長にも企画調整員にも伝えている。それぞれがやるべき事をし、総体で問題が起きれば行政と企画調整員とで調整しながらわさび振興に繋がる事業展開をやっていきたいと考えている。

ワサビバイオセンターについて

- 現在の出荷本数は？

▷ 現時点での販売見込みは、4千数百本の見込み。計画としては9500本株であるが、5千本作った苗が繰り越されるという状況である。かねてより農家が必要とする時期に供給できるタイミングになっていないという課題があり、現在その課題解決に向けての取り組み等進めておるところである。

- バイオセンターについては毎年意見が出るが、改善されてないというのが現状ではないか。ワサビの町として良いワサビを出していく上では、絶対に必要な施設である。もっとうまく稼働するような体制にし、農家が必要とする時期に苗を供給出来るようにしてほしい。

- バイオ苗だからといって、どの谷に植えても合うわけではない。職員は、出荷した苗の追跡調査をし、一番良い株を培養していくような努力をするべき。

▷ あらゆる策を講じて改善をしていかないといけないと考えている。

【報告事項】

(2) 国道 488 号通行止め区間の整備方針について <資料 2 建設課長より説明>

○島根県への回答を、「現道の国道 488 号を地方主要道吉賀匹見線から林道三坂八郎線を経由するルートへ振り替えることを前提に今後の事業を推進すること」を結論とし、回答を提出する。

【その他】

その他報告事項

- ①3月 29 日 10 時から匹見健康センターバイオマスボイラーの竣工式
- ②4月 24 日匹見下地区多目的集会施設の竣工式予定
- ③前回地域協議会で話があった、ワサビ振興協議会の件についてその後の経過対応の報告。
 - ・支所長、地域づくり推進課長、JA支店長等交え齋藤会長と協議の場を持ち、2/25 ワサビ振興協議会の臨時総会を開催した。27 年度の事業中間報告をし、課題等については全体で改善していくことを確認したところ。会長職については次期総会まで継続される。

その他質疑

- 市の遊休公共施設について、利用がなければ廃止や解体するというのが行財政改革で盛んに言われているが。その考えでいくと中山間地ではほとんどの施設を解体するようになる。そういう話が具体的に動き出した時には、行政は地域に対し意見を聞き、施設の活用について検討するべき。施設が無ければ子供の遊び場も無くなり、人口拡大計画を進めるのにU I ターンが呼び込めない。健康増進の面でも屋内でのスポーツをする場も無くなる。施設の活用については地元にも考えがある。それを汲み取ってほしい。行革を前に出して、とうとう何も無くなるようなことでは、いけないのでないのではないか。
- ▷ 公の施設の在り方検討会では今、施設の活用状況等を調査しており、それによって即座に解体するという事ではないが、一応は公の施設を少なくしていくという考えがある。本当に地域の中で活用する施設なのか、そのあたりは地域の中に意見を聞いて解体する方向とかを最終的に決めていく事が基本である。一方的に解体するという提案は地元にしないようにしたいと考えている。